

成田ナンバー発進

早朝から大勢の人が詰め掛ける

地域への愛着・誇りなどの意識を高めることを目的に、愛車のナンバープレートに新たな地域名を表示する「成田ナンバー」の交付が10月10日から始まり、千葉運輸支局には「成田」ナンバーをいち早く手に入れようと早朝から多くの人が詰め掛けました。また、市でも、市長車や消防自動車など6台を「成田」ナンバーに切り替え、市役所前で行いました。



普通自動車の中で一番乗りした伊藤さん(桜田)



市役所議会棟前で行われた出発式



化学消防車にも取り付けられた成田ナンバー

合併記念事業

第28回千葉県消防音楽隊フェスティバル

息の合った演奏で観客を魅了

千葉県下15の消防音楽隊が一堂に会した、第28回千葉県消防音楽隊フェスティバルが10月7日、国際文化会館で開催されました。15の消防音楽隊が4グループに分かれて、迫力ある演奏を披露。消防活動の合間をぬっての練習とあって、事前の合同練習もほとんどできないまま本番となりましたが、いずれも息の合ったすばらしい演奏で、観客を魅了しました。



500人の観客を前に

第48回関東ブロック民俗芸能大会

幽玄な舞に惜しめない拍手が

関東地区に伝承されている郷土色豊かな民俗芸能に対する理解と関心を深めようと、関東ブロック民俗芸能大会が10月1日、栃木県総合文化センターで開催されました。千葉県からは「成田市取香地区の三番叟」が代表として参加し、約500人の観客を前に翁・千歳・三番叟がそれぞれの舞を披露。幽玄な舞に会場からは惜しめない拍手が送られました。



フィナーレを飾った成田小合唱部とのジョイント演奏

合併記念事業

第35回市民運動会

青空の下、 30チームが参加

雲一つなく晴れわたった青空の下、第35回市民運動会が、10月9日の体育の日、中台運動公園で行われました。ことしは新たに下総・大栄地区が加わり30チームが参加。今回は総合優勝はなく、綱引きや玉入れなど競技ごとに3位までが表彰されるため、多くのチームに入賞のチャンスが。それぞれ、チームの勝利に向けて白熱した試合が行われました。



気持ちを一つに長縄とび



全員の力を集中して



チームプレーが勝敗を分ける玉入れ



爆発炎上した航空機からの脱出訓練

滑走路内で航空機が爆発炎上し多数の死傷者が出たことを想定した総合訓練が、成田市や各医師会、消防など空港内外の関係機関から1200人が参加して、10月12日、成田国際空港内の整備地区で行われました。参加者は、航空機からの脱出訓練、負傷者の負傷の程度に応じた応急処置など関係機関の連携を図りながら、本番さながらの緊張感の中、訓練に臨んでいました。

もしものときに備え 1,200人が参加

航空機事故消火救難総合訓練

鉄道の日イベント

D51の学習会や 鉄道グッズを展示

鉄道の日になみ10月15日、栗山公園でミニ蒸気機関車の運行、旧国鉄時代のさまざまな鉄道グッズや写真の展示などを行う「鉄道の日イベント」(主催：成田SL保存会)が開かれました。訪れた家族連れは、常設展示されているD51の運転室に乗り込んだり、約半世紀も前に使われた品々を興味深そうに手に取ったりして楽しんでいました。



家族でミニSLに試乗



昔の機関士さんからD51の説明を受ける